

# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

当面中止。詳しくはお問い合わせください

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナルの春番組「身近にある宇宙の話」を投影しています。投影後は4階観測室で「デジタルラッピング(デジタル映像を使った解説)」や、晴天時には「昼の星観察会」でお楽しみください。

テーマ番組・オリジナル番組「星と出会う日々～本田実物語～」6月17日スタート

### ☆4Kリマスタリング版

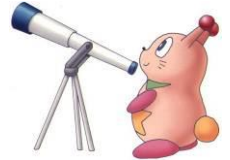
鳥取県出身で、世界的新天体発見者だった本田実さんの生涯を描いたプラネタリウム番組です。(さじアストロパーク・オリジナル作品を、4Kデジタル作品としてリメイクしました)

## 2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

5月26日から再開予定。

詳しくはお問い合わせください

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、当面、曜日に関係な予約制で再開することとなりました。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を10名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 で再開しますので、ご了承ください。個人の方(お一人からご予約できます)は前日まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 6月の注目天体情報

#### ☆見ごろの星座

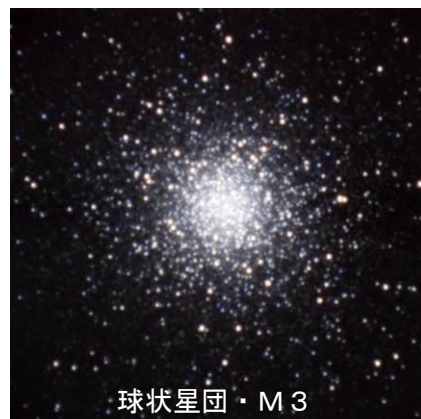
あまりなじみがないかもしれませんが、「うしかい座」と「りょうけん座」が見ごろとなっています。星空の中では、「北斗七星」→「りょうけん座」→「うしかい座」とつながっています。

うしかい座は、「天が落ちてこないように支えている巨人アトラス」とも言われていますが、星座の名前や姿とはずいぶんかけ離れていますね。

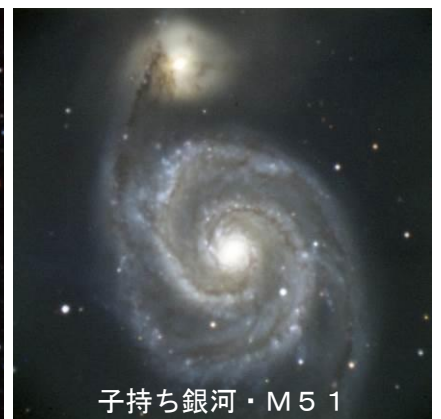
うしかい座の「アルクトゥルス」は、「春の大曲線」「春の大三角」で登場する1等星で、オレンジ色に輝く星です。103cm大型望遠鏡で観察すると、まぶしいほどの明るさで、見ごたえがあります。

アルクトゥルスには「熊の番人」とか「熊を見張る星」という意味があります。星座絵からも、おおぐま座を追いかけていく動きからもぴったりの名前です。

りょうけん座は明るい星が少なく目立たない星座ですが、球状星団・M3や子持ち銀河・M51といった見ごたえのある天体があります。



球状星団・M3



子持ち銀河・M51